

## 就任のご挨拶

理事長 森 勉

富澤前理事長の後任の森勉です。干支で一回り近い若輩者ですが、諸先輩方そして会員の皆様のご指導とご協力を頂いて、理事長としての役割を全うしたいと考えております。何卒宜しくお願い致します。

偕行社は皆様ご承知のとおり、明治10年陸軍将校の修養研鑽と団結を主な目的として創設され、明治・大正・昭和と活動してきましたが、昭和20年敗戦とともに解散を余儀なくされました。戦後は昭和32年陸軍関係の戦争犠牲者の福祉増進と、会員の親睦を目的とする社団法人偕行社が設立されました。

陸軍関係者の会員の高齢化が進む中、平成13年から主として陸上自衛隊等の幹部自衛官であった者の有志を会員に加え、偕行社を継承することになりました。その後平成23年公益財団法人偕行社に認定されました。現在では、陸軍関係者の会員が減少し約2000人、陸上自衛隊等の幹部自衛官であった者が約3000人となりました。また、各地には偕行会があり偕行社と同様の活動を実施しております。

現在の偕行社は、「英霊に敬意を。

日本に誇りを。」モットーに、陸軍関係者と陸上自衛隊等の幹部であった者の有志の会として、また公益法人としての二つの側面を持って活動しています。今後は公益法人としての公益性・透明性の確保と戦後の偕行社の創設目的である同窓会的性格の接調を図ることが極めて重要であると思っております。

明治維新以降19世紀中葉から20世紀中葉は、日清戦争、日露戦争、満洲事変、シナ事変、大東亜戦争等、正に戦争の1世紀でした。少なくとも千五百年以上という世界で最も長い歴史を持つわが国の歴史の中で極めて特異な1世紀でした。そして、建国以降初めて外国軍の侵略・統治を許すという衝撃的な敗戦で戦争の世紀は終焉しました。しかしながら戦後半世紀は、戦争に負けたにもかかわらず奇跡的な平和と繁栄を享受しています。このような中であって常に国家の中核にあった陸軍と憲法9条に規定された軍隊ではない陸上自衛隊ではその地位・立場は大きく異なりますが、国家の平和と独立を守るという役割は同じであり、志を共有できるものと確信しています。出来るだけ多くの陸上自衛隊の幹部であった方々に入会して頂くとともに、将来は陸上自衛隊幹部の会に発展していければと念願する次第であります。会員の皆様のご協力と陸上自衛隊の幹部の皆様方のご理解とご協力を重ねてお願い致します。